

平成23年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時:平成23年6月29日(水)13:00-16:30

会場:西湘地域県政総合センター 3階会議室E・F

発表時間	演題と概要	発表者
13:00 ~ 13:05	あいさつ	所長 吉田明夫
13:05 ~ 13:30	神奈川県およびその周辺地域における2010(平成22)年の地震活動 当所が、神奈川県西部地域で行っている地震観測の観測結果をもとに、2010年1月~12月までの地震活動について報告します。	伊東博
13:30 ~ 14:15	東北地方太平洋沖地震と神奈川県の地震活動との関係 3月11日に発生したM9.0の東方地方太平洋沖地震は、かつてないほどの津波を発生させ、東日本沿岸に甚大な被害をもたらしました。本講演では、地震の概要、本震の破壊がどのように進展したのか、また周辺の地震活動にどのような影響を与えたのかについて、他機関の研究成果なども踏まえて紹介します。また、神奈川県が現在想定している津波の被害予測についても紹介します。	明田川保、本多亮、 杉原英和
14:15 ~ 14:30	(休憩)	
14:30 ~ 14:55	箱根火山及び富士山の低周波地震活動と地殻変動について 2001年以降の箱根火山周辺と富士山周辺の地殻変動を調べ、それぞれそれぞれの火山体近傍で発生している低周波地震活動の経年変化を比較して、それらの関連性について報告します。	原田昌武
14:55 ~ 15:20	神縄・国府津-松田断層帯北西縁部の地質構造 当所が東大地震研などと共同で進めている文科省プロジェクト「神縄・国府津-松田断層帯における重点的な調査観測」において実施した活断層ボーリング調査の結果等について説明します。	小田原啓
15:20 ~ 15:35	(休憩)	
15:35 ~ 16:00	強羅潜在カルデラ構造に湧出する温泉の特徴 箱根には4つの潜在的なカルデラ構造が存在します。そのうち、最も大きな強羅潜在カルデラ構造に湧出する温泉について、その特徴から6つのタイプに分類できることが分かりました。	菊川城司
16:00 ~ 16:25	明らかとなった大深度温泉生成の仕組みと今後の検討課題 これまでの研究成果により明らかとなった大深度温泉生成の仕組みと、その成果を踏まえ、温泉資源保護のために今後どのような点に着目して研究を進めていくのかについて解説します。	板寺一洋